

(当センター事務局が公表資料をもとに作成)

## 「2014(平成 26 年度)の温室効果ガス排出量(確報値)について」(要旨)

- △ 確報値とは、わが国の温室効果ガス排出・吸収目録として、気候変動枠組条約事務局に正式に提出する値です。
  
- △ 2014 年度の温室効果ガス総排出量は 13 億 6,400 万トン(\*CO2 換算)、前年度比で 3.1%減、1990 年度比で 7.3%増となりました。前年度比で減少した要因として、電力消費量の減少や電力の排出原単位改善に伴う CO2 排出量の減少等が挙げられます。  
\*CO2 換算：各温室効果ガス排出量に各ガスの地球温暖化係数を乗じ、合算した値です。地球温暖化係数は各ガスの温室効果をもたらす程度について、CO2 の温室効果をもたらす程度に対する比で示した係数です。
  
- △ 温室効果ガス排出量の内訳を見ると、CO2 が 12 億 6,500 万トン、92.8%を占め、特にエネルギー起源がガス全体の 87.2%を占めています。また、CO2 排出量を部門別に見ると、1990 年度比で業務その他部門が 91%増、家庭部門が 47%増となったのに対し、産業部門は 15%減となりました。
  
- △ 一方、吸収源活動による吸収量は 5,790 万トン(森林吸収源対策 4,990 万トン、農地・牧草地管理、都市緑化活動 800 万トン)となりました。

以 上